

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 29 年 9 月 14 日 (2017.9.14)

【公表番号】特表 2016-533910 (P2016-533910A)  
 【公表日】平成 28 年 11 月 4 日 (2016.11.4)  
 【年通号数】公開・登録公報 2016-062  
 【出願番号】特願 2016-534833 (P2016-534833)  
 【国際特許分類】

B 2 5 J 15/04 (2006.01)

A 6 1 B 34/35 (2016.01)

B 2 5 J 19/00 (2006.01)

【F I】

B 2 5 J 15/04 A

A 6 1 B 34/35

B 2 5 J 19/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 8 月 7 日 (2017.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

近位駆動ディスク及び被駆動ディスクを有する装置であって、  
前記駆動ディスクは遠位駆動インタフェースを有し、  
前記駆動インタフェースは遠位に延びる円形トラックを有し、  
前記円形トラックは、第 1 の端部及び第 2 の端部を有し、  
前記駆動インタフェースは、前記円形トラックの前記第 1 の端部と前記第 2 の端部と  
の間にギャップを有し、  
前記被駆動ディスクは、前記駆動インタフェースと係合するように構成される近位被駆  
動インタフェースを有し、  
前記被駆動インタフェースは、近位表面、前記近位表面から前記被駆動インタフェー  
スに遠位に延びる溝部、及びたわみ部を有し、  
前記溝部は、第 1 の端部及び第 2 の端部を有し、  
前記溝部は、前記駆動インタフェースの前記円形トラックを受けるように寸法決めさ  
れ、  
前記たわみ部は、前記溝部の前記第 1 の端部と前記第 2 の端部との間に延び、  
前記被駆動ディスクを基準にした前記駆動ディスクの第 1 の回転の向きにおいて、前記  
駆動インタフェースの前記円形トラックは、前記被駆動インタフェースの前記たわみ部に  
接触するとともに前記たわみ部を前記被駆動インタフェースに押し込み、  
前記被駆動ディスクを基準にした前記駆動ディスクの第 2 の回転の向きにおいて、前記  
駆動インタフェースの前記円形トラックの前記ギャップは、前記被駆動インタフェースの  
前記たわみ部と位置合わせされる、

装置。

【請求項 2】

前記駆動ディスクの前記第 1 の回転の向きにおいて、前記たわみ部は、前記被駆動ディ  
スクの回転を防ぐよう歯と係合し、

前記駆動ディスクの前記第 2 の回転の向きにおいて、前記被駆動ディスクは、自由に回転する、

請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記駆動インタフェースはさらに遠位に延びる壁を有し、

前記円形トラックは第 1 の高さを有し、

前記壁は、前記第 1 の高さより小さい第 2 の高さを有し、

前記被駆動インタフェースは、前記駆動ディスクの前記第 2 の回転の向きにおいて前記駆動インタフェースの前記壁を受けるように寸法決めされ且つ配置される受部を有する、

請求項 1 又は 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記駆動インタフェースは駆動ドグを有し、

前記駆動ドグは、3 次元構造を有する第 1 の部分及び前記第 1 の部分から遠位に延びる第 2 の部分を有し、

前記第 2 の部分は、2 つの反対側の第 2 の部分側面を有し、

それぞれの前記第 2 の部分側面は曲面である、

請求項 1 又は 2 に記載の装置。

【請求項 5】

前記曲面は、円形断面の一部を有する、

請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

前記被駆動インタフェースは駆動ドグ受部を有し、

前記駆動ドグ受部は、遠位に前記駆動ディスクの中に延びる第 1 の対向側壁及びそれぞれが前記第 1 の対向側壁の対応する 1 つから遠位に前記被駆動ディスクの中に延びる第 2 の対向傾斜側壁を有する第 1 の部分を有する、

請求項 1 又は 2 に記載の装置。

【請求項 7】

前記傾斜側壁のそれぞれは、くさび形の側面の一部を有する、

請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】

前記駆動インタフェースは駆動ドグを有するとともに前記被駆動インタフェースは駆動ドグ受部を有し、

前記駆動ドグは、2 つの反対側の湾曲側面を有し、

前記駆動ドグ受部は 2 つの反対側の傾斜側壁を有し、

前記駆動ディスクの前記第 2 の回転の向きにおいて、前記駆動ドグの前記 2 つの反対側の湾曲側面はそれぞれ、前記駆動ドグ受部の前記 2 つの反対側の傾斜側壁の対応する一方と接触する、

請求項 1 又は 2 に記載の装置。

【請求項 9】

前記駆動インタフェースは遠位に延びる壁をさらに有し、

前記駆動インタフェースの前記円形トラックは第 1 の高さを有し、

前記壁は、前記第 1 の高さより小さい第 2 の高さを有し、

前記被駆動インタフェースは、前記駆動ディスクの前記第 2 の回転の向きにおいて前記駆動インタフェースの前記壁を受けるように寸法決めされ且つ配置される壁受部を有する、

請求項 8 に記載の装置。